

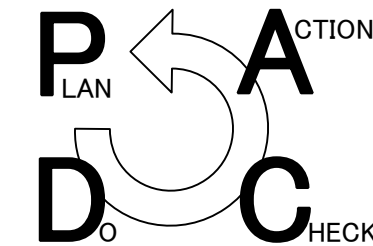
政策名	3夢のふくらむ港	施策推進 責任者	港営部長 関連事業担当部長
基本施策名	04うるおいと魅力のある港湾空間の形成		
個別施策名	14スポーツ・レクリエーションの場を充実する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	県市民、地域住民					
	サービスの対象物(何を)	臨港緑地(運動施設等を含む)、新舞子ポートパーク					
	意図(どういう状態にしたいのか)	効率的かつ効果的に管理運営され、多くの人々に利用される					
内容	名古屋港内では、地域の人々にスポーツ・レクリエーションの場を提供するため緑地を整備し、運動施設を設置しています。これらの施設について、指定管理者等により効率的かつ効果的な管理運営を行い、多くの人々に利用されるようにしていきます。						
目標	運動施設等が多くの人々に利用されるようにします。					目標達成に影響する外的要因等	
成果指標名		単位	実績			目標	指標の説明(式)
			H19年度	H20年度	H21年度	H24年度	
運動施設・緑地等利用者数	実績目標	千人	487	490	502	490	運動広場、海づり公園、新舞子マリンパーク、ゴルフ場、野球場、テニスコート、サイクリングロード等
	達成率	%	101.5	102.1	102.4		
新舞子ポートパーク利用率	実績目標	%	100	100	100	100	
	達成率	%	100.0	100.0	100.0		

4. ACTION(取組)

取組の方向性			
成果	拡大		
	維持	○	
	縮小		
		縮小	維持
		コスト	
判断の理由			
指定管理者と協力し、良好な施設の提供を図ることにより、今後も安定した集客効果を発揮していく必要があるため。			



3. CHECK(個別施策の実現に向けた今後の展開方向)

現状における課題認識	
<ul style="list-style-type: none"> <li>運動施設・緑地等の管理運営においては、原則公募の指定管理者制度により、22年度より本組合の外郭団体以外に2つの民間事業者が参入することとなったように、指定管理者が公の施設を適正に管理運営しているかモニタリングし、必要な指導・助言を行っていくことが今後一層重要となっています。</li> </ul>	
構成事務事業の適正性 (事務事業の構成内容の妥当性)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業構成は概ね妥当であると考えます。</li> </ul>	
今後の展開方向 (新規事業の創出、事務事業の見直し等)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用者の要望や苦情を管理運営に活かし、より多くの人々に利用していただけるよう、指定管理者と連携を図っていきます。</li> <li>指定管理者制度におけるモニタリングの精度を高めるなど、より適正な管理運営のあり方を検討していきます。</li> </ul>	

2. DO(個別施策を構成する事務事業の今後の方向性)

重点化	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な成果指標 又は活動指標 (単位)	成果・事業費(千円・人件費込)				目標値 (目標年度)	21年度 末まで の状況	今後の方向性		判断の理由		
				H19年度	H20年度	H21年度	H22年度			事務事業 の 方向性	取組の方向性			
				実績 決算額	実績 決算見込額	目標 予算額	目標 予算額						成果	コスト
	新舞子ポートパークの管理運営 (3041401)	指定管理者による利用料金制度で運営しており、適正な管理運営を確保するため、モニタリング等を実施し、必要に応じて指導・助言を行います。	ポートパーク利用率(%)	100	100	100	100	100	継続事業	順調	継続	→	→	利用料金制度を活用した指定管理者による現状の良好な運営状態を維持していく必要があるため。
	運動施設・緑地等の管理運営 (3041402)	定例的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。	利用者数(千人)	487	490	502	490	490	継続事業	順調	継続	→	→	現在、良好な施設運営がされており、この状態で維持・継続して事業を進めていくため。
			施策コスト (事業費合計)	365,683	339,426	306,101	206,282							

注) 事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。

注) 目標値欄の「継続事業」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則としてH24年度の中間目標として設定しています。